様式2 国保用

念書

平成31年 ●月 ●日 <u>●●市●丁目●番●号先路上</u>において <u>干葉次郎</u> の不法行為により <u>佐倉花子</u> の被った 保険事故について国民健康保険法による保険給付を受けた場合は、私が 第三者に対して有する損害賠償請求権を国民健康保険法第64条第1項 の規定によって保険者が給付の価額の限度において取得、行使し、かつ 賠償金を受領することに異議のないことをここに書面をもって申し立て ます。

なお、あわせてつぎの事項を遵守することを誓約します。

- 1 第三者と示談を行おうとする場合は、必ず前もって貴職にその内容を申し出ること。
- 2 第三者に白紙委任状を渡さないこと。
- 3 第三者から金品を受けたときは、受領年月日、内容、金額(評価額) をもれなく、かつ遅滞なく貴職に届け出ること。
- 4 本件事故に関し、損害額、事故態様、治療状況その他の私の個人情報を上記法令に基づく請求のために、取得、利用、または提供することに同意します。

平成 31 年 ●月 ●日

住 所 佐倉市海隣寺町●●番地

佐倉市長 様

(注)被保険者が未成年者の場合は、親権者が念書を差し入れてください。